

新しい公共をつくる 市民キャビネット

市民キャビネット要綱 (1)

新しい公共をつくる市民キャビネット(略称、市民キャビネット)は、全国の市民および市民。

市民キャビネット要綱 (2)

団体(NPO/NGO、生協、労働組合、社会的企業等)が結集して、生活の現場から政策を組織化し、政権と交渉・協議し、市民政策の実現を目指します。

市民キャビネット要綱 (3)

この要綱は、市民キャビネットの趣旨、規約にもとづき、新しい公共をつくる新しい社会連帯の組織、活動としてのフレームを明示するものです。

市民の生活感覚、現場感覚から政治を変えていこう!

新しい公共を掲げる政権に対してNPO等の側が結集して政策提言をする機能の必要性から、1月29日に新しい公共をつくる『市民キャビネット』を設立しました。

【設立趣旨】

日本の政治は、官僚内閣制でした。政官業による三位一体の政策決定・実施の仕組み、いわゆる業界政治が土木建築中心の公共事業を進めてきましたが、これに代わって、生活を大事にする人道の公共ソフト事業を進めるには、市民の生活の現場での「新しい公共」が求められています。

グローバル化が進み、環境破壊、貧困、紛争、人権侵害、自立経済や共同体の崩壊等、諸問題の地球規模での深刻化、日本でもお金至上主義の傾向が強まる一方、貧困層の拡大、雇用の不安定化、中小企業や地域の弱体化など、生活は経済の犠牲となり、われわれの社会は根底から崩れかねない状況に陥りました。

世界と日本の趨勢、財政の危機などを考えると、この生活と社会の立て直しは、「私」と「公」をつなぎ、助け合い、協力、連携を基にする「新しい公共の創出」によってこそ行わなくてはなりません。

生活は目的であって手段ではなく、政治はこの目的の総合的調整と実施であるとするれば、古い公共に代わる新しい公共は、市民の政治参加によってこそ実現することであり、市民キャビネットは、新しい公共を実現する政策提言の市民参加プラットフォームであるということが出来ます。

社会をリードしていくNPO/NGO等の市民団体、生協や労働組合等の非営利組織、社会的企業等が結集し、次のことを進めます。

1. 分野別および総合的に政策提言を策定し、政府・政権等と交渉・協議し、市民政策を実現する。

2. 新しい公共政策の受け皿として、新しい公共サービスを担い実施する。

そのために、公的資金のアカウントビリティを確保しながらNPOなど民間団体の自律性を保障するような仕組みやルールを構築する。

3. 市民的立場から広く施策・行政・関連法人等を点検・評価する。

市場経済一辺倒の社会から、新しい公共をつくる市民参加型社会の構築へ、わたしたちは心と力を合わせて取り組んでまいります。

この趣旨に賛同する多くの団体、企業、個人のみなさんの参加を要請するものです。



意見広告をどうぞ!

市民キャビネットの動きは始まったばかりです。さらに全国的な動きをするためには、より多くの市民の協力が必要です。

「新しい公共をつくる市民キャビネット」の趣旨に賛同した方々と共に、大きな波として「意見広告」を出すことにしましたのでご協賛ください。

1口3,000円

申込みは <http://sakebu.jp/>

新しい公共をつくる「市民キャビネット」は、従来の陳情組織とは異なり、NPO・市民団体が公益活動を自らの責任で担い、政権が目指す「新しい公共」を実現するための政策推進のための組織です。「新しい公共は、市民の政治参加によってこそ実現することであり、市民キャビネットは、新しい公共を実現する政策提言の市民参加プラットフォームです。」

ぜひ多くの市民(団体、企業、個人)の参加とご支援をお願いします